平成30年度地方創生ストリートミーティング【首都圏若者編】 意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	各課回答•対応方針	担当課
1	吉祥寺でのPRイベントは面白く、 話題性も高かった。東京の人気スポットで第2弾を実施してみては どうか。	このPRイベントは、鳥取市や周辺町の田舎暮らしの魅力を発信するため、都会の住みたいまちランキング上位の吉祥寺で、平成30年8月27日から9月23日までの期間で実施したものです。この期間中、吉祥寺駅に印象的な画像やキャッチコピーで構成したポスターを掲出したところ、SNSを中心に情報が拡散され話題性が高まり、全国ネット番組など多くのメディアで取り上げられ、本市や圏域の魅力を首都圏のみならず全国的に広く発信することができました。今後、この成果等をしっかり検証し、より効果的な取組となるように実施場所等も含め検討してまいります。	秘書課広報室
2	「すごウサ」はとても可愛く人気 があるので、市のマスコットキャ ラクターとしてゆるキャラ化して みてはどうか。	「すご!ウサギ」は、本市の知名度アップキャンペーン「すごい!鳥取市」のイメージキャラクターとして作成したものです。このキャラクターは、もともと平面上での活用を前提にデザインしており、キャラクターの持つイメージ等を保持するために、ゆるキャラ等の立体的なものへの活用は行わないこととしています。 引き続き、本市のイメージキャラクターとして活用を図りながら、本市の良好なイメージ浸透を図ってまいります。	秘書課広報室
3	鳥取市にゆかりのある都会の学生をPR大使に任命し、友人などを鳥取市に連れていきアピールさせてはどうか。その際の交通費を市が助成する制度があれば利用したいと思う。	本市では、ブランドスローガンを「SQのあるまち」とし、本市の魅力度及び都市イメージを高めることが見込める事業を「SQのあるまち推進事業」として認定し、事業にかかる経費を助成する「鳥取市SQのあるまち推進事業補助金」を交付しております。いただいた御意見につきましては、本補助金を御活用いただきたいと思います。また、今後のシティセールスの取組強化に向けて、参考とさせていただきます。補助金の対象事業は次のとおりです。 (1)鳥取市への誘客や滞在の促進につながる事業 (2)鳥取市の魅力を発信する事業 (3)観光資源の発掘、魅力向上、地元食材を利用した新たなメニューの開発など地域の特性を活かした事業 ※本補助金の申請手続き等は、担当課までお問い合わせください。	政策企画課
4	地元の学生は、鳥取の企業をまったく知らない。若者の地元定住につなげるためにも、もっと高校生のうちに地元企業の魅力を伝える取組を行ってみてはどうか。	現在、本市では麒麟のまち連携中枢都市圏域(圏域を構成する市町:鳥取県鳥取市、岩美町、若桜町、八頭町、智頭町、兵庫県新温泉町)の高校と企業を対象とした企業見学バスツアーを実施し、直接企業を訪問することにより企業の魅力を感じていただいていますが、来年度より、高校生やさらに保護者の方にも地元企業の魅力を伝えるための取組として、本市広報誌に企業の魅力を記載した折込チラシを同封する方法や企業と学生・保護者とが交流できる場の開催などについて計画しているところです。	経済•雇用戦略課

平成30年度地方創生ストリートミーティング【首都圏若者編】 意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	各課回答•対応方針	担当課

○その他意見

- 何もない田舎と思っていたが、都会よりいろんなことにチャレンジできるまちだと思う。
- 自分から能動的に鳥取市に関わる機会を増やすことが大切。地域イベントやリノベーションに関わることで、鳥取愛を育むことができる。
- ・鳥取市の強みは、美しい自然や豊かな食、そして住民が主役となって起業や地域活性化に取り組める環境だと思う。
- ・鳥取駅周辺の活性化が重要。駅前のメイン通りがシャッター通りで、人通りもなく閑散としている。初めて訪れる若者にとっては悪い印象でしかない。
- ・鳥取にも優秀な人材がたくさんいるが、優秀な人材ほど都会に進学したり就職する。優秀な人材に残ってもらう取組が必要だと思う。
- ・高校生の頃、友達のほとんどが鳥取は楽しくない、行きたい大学がない、就職先がないと思っていた。